

電友会四国連合会報

第 18 号

77. 4

目 次

電友会の皆様へ……………	四国電気通信局長……………二
先輩の皆様へ……………	文書広報課長……………二
電電公社 人事異動……………	三
昭和五十二年度恩給改善政府案きまる……………	四
公社だより・年金だより……………	四
表紙のことば……………	莊野丹秀……………四
会員消息……………	藤田計……………四
特 集……………	旅のおもいで……………五
植田艸園子……………	上田敏春……………
太田集……………	鎌倉兵一……………
佐賀茂吉……………	佐久間由夫……………
玉川都夢……………	中井隆雄……………
栗松春美……………	土方義夫……………
吉本精一……………	保木行重……………
西尾勇馬……………	高野武久……………
柳瀬市郎……………	井上広次……………
古山真佐子……………	古山真佐子……………
短歌・俳句……………	藤田基孝・岩原貞恒・原田照男……………二〇
事務局から重ねてのおねがい……………	二〇
随 筆……………	猪谷嘉夫・田中義隆……………二
中原長太郎・藤田基孝……………	二
計 報……………	二
編集後記……………	三

電友会の皆様へ

四国電気通信局長

工藤 理一郎



春寒しだいにゆるみ陽春のみぎり、四国電友会の皆様にはますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。

一月十八日付で四国電気通信局長を命ぜられました工藤でございます。私にとって四国での勤務は始めてはございますが松山は昭和二十年の春、海軍技術士官として鹿屋（鹿児島）の航空基地の通信施設整備の任務をうけて行く途中給油のため降りたつた因縁の地でもあります。その後通信省に入り公社に移ってから出張で三度四国を訪れ美しい自然にめぐまれ人情にあつた土地柄という印象をもっておりました。この四国で仕事ができることになったことを心から喜んでいく次第です。

公社にとって去年は永年の懸案でありました料金問題も皆様方の多大のご協力とご支援を載きまして解決し財政基盤の確立をはかることができました。本年はこの確立された経営基盤の上にたつて一層の企業努力をいたしたいと存じます。

ご存知のように電電公社は昭和二十七年発足の時に二つの目標をかかげて努力してまいりました。すなわち申し込めばすぐつく電話の体制を確立することと全国どこへでもダイ

ヤルで直接かけられるようにすることです。以来二十四年間四次にわたる五ヶ年計画を策定し目標達成のため努めてまいりました。そして目下昭和四十八年度を初年度とする第五次五ヶ年計画を引き続き実施いたしておるところでございます。

四国におきましてもこの第五次五ヶ年計画の実施によりまして加入電話が現在百十三万加入に達しておりいよいよ昭和五十二年度末には申し込めばすぐつく電話の体制が確立されるところまでまいっております。またダイヤル化百パーセントも昭和五十三年度末には目標どおり達成できる見込みであります。

四国は私達の電信電話事業だけにとどまらず今や四国と本州の間を結ぶ夢のかけ橋が現実のものとなりつつあるように産業、経済、文化のあらゆる分野にわたって全国レベルに近づきつつある時代を迎えていると思っております。

私も諸先輩の残されたこの業績を引き継ぎ四国の電話サービス水準を全国レベルに引き上げるとともにより充実したものとするために全力を傾けていきたいと思っております。

私達の公社事業は地域の人達と密接につながっており地域社会の理解と協力が是非必要であります。私達はこの点に十分配慮して事業の推進をはかりますが、公社事業に深い理解とご経験をもたれ、地域社会において厚い信望を得ておられる皆様方のお力添えを心からお願いたします。

できるだけ機会を捉えて皆様方にお逢いし近況をお聞かせいたたくとともに公社の動向などをお話し申し上げて高説を賜わりたいと思っておりますのでこの上ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後に諸先輩の皆様方にはますますご健康

で活躍くださいますことと電友会のご発展を心からお祈りいたしまして私のごあいさついたします。

プロフィール

一月十八日付で四国電気通信局長になった工藤理一郎氏（五十三才）は秋田県出身で仙台搬送通信部長、北陸通信局副局長、東京港地区管理部長などを経て昨年一月から施設局総合通信網設計室長を歴任され、四国での勤務は始めて。

松山では息子さん二人を東京の自宅に残し奥さんと二人だけの生活になる予定スキーは秋田生れなので下駄みたいなものとか。他にゴルフはなかなかの腕前四国八十八ヶ所の札所を暇をみつけてまわってみたい、四国の人情あふれる土地柄で仕事できることを大変うれしく思っているそうです。

先輩の皆様へ

— 四月一日から基本料の

第二段階を実施 —

四国電気通信局文書広報課長

川 船 英 二

電友会の皆様には、電報電話の料金改定に当り地域の方々と公社との間にあって、悪化した公社財政の実情等々公社の現状を広く一般に周知していただくなど、なみなみならぬ御協力を頂きました。この皆様から頂きまし

た御協力と御支援に對し心から御礼を申し上げます。御蔭様をもちまして長年の懸案でありました電報電話料金等に関する公衆電気通信法の一部を改正する法律は昨年の一月に国会を通過いたし、一月一七日から新料金制を実施させていただいております。ここに重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、公社発足以来、數次にわたる五カ年計画を経た今日、長い間の宿願でありました電話の積滞解消は今や目前のこととなり、五十二年度末までには「申し込めばすぐつく電話」が実施される予定であります。また、電話の全部がダイヤル化され「全国どこへでもダイヤルでつながる電話」の実現も五十三年末までには達成される見込みとなりました。これはほかならぬ皆様が先輩諸兄が残された業績がもたらしたものであり、この宿願が達成されようとしている今日、公社に籍を置いてこの歴史的偉業を全うできる私達としたしましては真に光榮なことに痛感している次第です。私達は今後まず国民の皆様に安定した信頼されるサービスを提供することに心がけるとともに情報化社会の進展と生活水準の向上等により利用者から寄せられる新しい諸々の御要望にも配慮しながら福祉社会にも役立つ電気通信サービスを目指して努力いたします。今後もしきつぎ御指導と御支援を賜わりますようお願い申し上げます。

人事異動（敬称略）

加川明孝 (五二、二、三)
工藤理一郎 (五二、一、八)

(単独電話・構内交換電話の月額料金)

電話区別料 (基本料)		52年4月1日以降		県名	該 当 す る 主 な 局 名
級別区分	加入数区分	事 務 用	住 宅 用		
1 級度数 料金局	800未満	1,400円	1,000円		四国に該当ありません
2 級度数 料金局	800～8000未満	1,700円	1,200円	愛媛	久万
				徳島	丹生谷
				高知	嶺北杉、田井、窪川、土佐清水
3 級度数 料金局	8000～5万未満	2,000円	1,400円	愛媛	大洲、内子、伊予長浜、八幡浜、三瓶、宇和野村、宇和島、伊予吉田、広見、御荘、伯方、伊予三島、川之江
				香川	観音寺、高瀬、豊浜、三本松、長尾、引田、土庄、内海
				徳島	小松島、阿波勝浦、阿南、牟岐、日和佐、鴨島、脇町、阿波池田
				高知	佐川、須崎、宿毛、土佐山田、安芸、室戸、吾川、土佐中村、土佐大月、赤岡、田野、松山、中島、北条、伊予、伊予中山、今治、壬生川、新居浜、西条
				愛媛	
4 級度数 料金局	5万～40万未満	2,300円	1,600円	香川	高松、讃岐三木、志度、丸亀、多度津、坂出、善通寺、琴平
				徳島	徳島、板野、石井、神山、鳴門
				高知	高知、伊野、吾北、南国、土佐
5 級度数 料金局	40万以上	2,600円	1,800円		四国に該当ありません

伊野同	鴨井同	石井同	板野同	日和佐同	長尾同	志度同	善通寺同	豐浜同	多度津同	川之江同	伊予長浜同	北条同	安芸同	土佐山田同	宿毛同	土佐中村同	須崎同	牟岐同	丹生谷同	阿波勝浦同	小松島同	三本松同	丸龜電報電話局長	高松電報局長	伊予三島同	西条同	今治同	宇和島同	大洲同	久万電報電話局長	松山電報局長	德島電氣通信部長	高松電話局長	建設部長	施設部長	營業管理部長	監査部長
-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	------	-----	------	------	-------	-----	-----	-------	-----	-------	-----	-----	------	-------	------	------	----------	--------	-------	-----	-----	------	-----	----------	--------	----------	--------	------	------	--------	------

森高遠阿福鹿清後竹北小盛金德^{五二}佐六岡近片豐立八流高花中十村武富森山合^{五二}大玉曾桑井磯一
木橋藤部島庭水藤内村森重森井二伯車本沢岡田町軒橋山平河尾智山川本二塚木部原関山宮
紫良岩俊健道辰繁喜義^{二二}慶美清一德良茂茂歲守弘義清兼義^{一〇〇}裕龍清雅政鹿
節朗治夫明博市晴正己木作繁積勉勇郎義武栄巍義郎行三一勝康忠春和義親司昇夫人夫照一

昭和五十二年度

恩給改善政府案きまる

五十二年度総理府の恩給概算要求一七六億円に対する大蔵省の第一次内示は、政府の財源が極めて乏しい中であって諸々の新規要求が膨大であったため、例年になく厳しく、実に半削減の三二〇億円となった。これについてただちに参議院議員西村尚治先生、長田裕二先生をはじめ、関係の向きに対して強力に復活折衝を要請した結果六〇九億余円に復活し去る一月二十日閣議決定を見るに至った。改善措置のうち主なものは次の通りである。

一、恩給年額の増額

今回も昨年同様、昭和五十一年度における公務員給与の改善傾向を分析した結果に基づいて、恩給年額の計算の基礎となっている仮定俸給を「六、七％十二三〇〇円」増額しようとするものである。この結果約六、七％ないし七、〇％アップとなり六月から実施する。

二、普通恩給等の最低保障の改善

六五才以上の長期在職者の普通恩給の最低保障額を五五万円から五八万九千円に引き上げ六月から実施する。

三、一般文官の退職年次による仮定俸給の改善

恩給は、退職時の俸給によって決定されるものであるが、給与制度の変遷に伴い、一般的に後に退職する者程有利となる傾向があるため、格差が生じている。これを完全に解消することは難しいが、昭和二十二年六月三〇日以前の長期在職の一般文官の退

職者にあつては二号俸（退職後三五年を経過した者にあつては三号俸）、同年七月一日から昭和三十三年三月三十一日までの退職者にあつては一号俸、それぞれ引き上げ古い退職者の処遇を改善する。（十月から実施）なお共済年金の改善措置についても従来経験に徴すると恩給に準じ行なわれるものと思われる。

（追記）三月十八日の衆議院本会議において前記の改訂実施時期がそれぞれ二カ月繰上がり、四月及び八月となりました。

公社だより

生きている証拠を

年金受給者の資格確認のために戸籍抄本または住民票の写を期日までに出して下さい。おくれると、年金の支払をうけられなくなることもあります。

○抄本等は四月一日以降の証明であること。

○提出書類の余白に年金証書の記号番号と自宅電話番号を記入しておくこと。

○提出期日 四月一〇日必着のこと。

○送付先 四国電気通信局職員部厚生課。
（松山市一番町四丁目三）

年金だより

ごぞんじですか？

従来通算老令年金受給者が死亡した場合は遺族年金は支給されなかったが昨年十月から通算遺族年金として、通算老令年金額の半額が支給されることになっています。適用は昨年十月以降の死亡者の遺族です。詳細は最寄の社会保険事務所でおたずね下さい。

表紙のことは

春の小島

莊野 丹秀（内海）

春告げ鳥の声を聞いて野外スケッチに出てみれば、海の香と小鳥のさえずりが春の太陽の中にとけこんで心ときめき、いまはなき人の面影を小島のかげに思い出す。そんな春の一日。

会員消息

藤田 計（丸亀）

一 七〇才 三九年退職
退職後五年間は四国通信建設KKに再就職し各地で公社の方々にお世話になった。

二 次の四年間はテレビやオーディオ関係の仕事に従事、一昨年二月以後は永い間のエレキの生活はやめて、自宅にて自家用野菜や仏様用お花の栽培と家事雑役の毎日である。

三 趣味は松山時代より初めた謡曲で丸亀局のお世話になり乍ら続けている。書道も一昨年から初めて居るが六〇過ぎての手習いで仲々人様のように上達しない。

四 坐る時間が永くなると足の血行が悪くなるので毎日一回以上自転車より飯の山（讃岐富士）の間一時間半のコースを走って腹の運動と気分転換につとめている。

五 家族は二人にて共に健康。

六 近頃思うことは、一事にあまり執着して身も心も消耗させないこと、時に応じて身を転じ心も転じて肉体の新陳代謝と気分の転換をはかるのが肝要であり又執念も必要と思っている。



西国巡礼

植田 艸園子 (高松)

旅のおもいで特集

去年の五月中旬、西国巡礼四泊五日の旅はすがすがしい思い出の旅であった。
三年がかりのお四国参りを打ち終えて、次は高野山へのお礼参りという時に「高野山だけでなく、ついでのこと」に西国三十三所観音参りを」ということになったわけである。
同行四人のドライブ旅行。三人は、お四国と島四国を済ませ、一人は本四国なかばといった六十路の年よりばかり。二人が運転を受けもちあとの二人が会計と計画を分担した。
今回はまず小手調べということで、一番那智の青岸渡寺から奈良の九番興福寺南円堂までを打ち、帰りに高野山へお参りしようという計画。小松島―和歌山間のフェリーを別にして車行距離九百六十キロ、はじめての道が多く、一行にとってこれはちょっととした大旅行といった感じがかった。

の民宿、最後は高野山の宿坊どまり。
気の合った仲間同志の旅は、さいわい天候にも恵まれ、紀州路から大和路のうつくしい新緑を満喫したのしい旅であった。特に海拔千米近い高野山では、八重桜とシヤクナゲが妍を競うめずらしい情景にめぐりあった。
最終日は前夜から堺市在住のMさんが参加し霊場高野山案内の労を取ってくださった。その時間かされた古代王朝時代の権力抗争など歴史の裏にかくされた真実の姿について、梅原猛の名著「塔」を通じて、いろいろと教えられ、考えさせられているこの頃である。

雪の眩野

上田 敏春 (松山)

大阪も過ぎ京都も過ぎた頃、読みつづけた本を膝にいつともなく眠っていた車窓に、雪を溶かすスプリングクレーラーのはげしい水音に目を覚めた。見れば列車は満目肅々たる雪の眩野をひた走りに走っている。終戦このかた、このような豪雪風景に接する機会のなかった自分には全くもって物珍らしく、感嘆これ極る思い。
京都から名古屋に通ずるほんの一時(当日は二時間)の短い区間ではあったが何か夢の国を走りつづけた感激は今もって、私の脳裡を離れない。

旅のたのしさ

内田 春雄 (鳴門)

古戦場も寺も社も雪の中
トンネルに逆巻く雪の荒々し
葉塚も雪の眩野の中に消ゆ
灯して雪の夕を閉しけり

会長となり、日帰旅行は春秋二回、一泊二日二泊三日の旅は四三年より春秋二回。昨年秋で十八回の旅行を計画し実施しました。
一人旅、数人連れの旅も楽しいが、何と云っても多数が寝食を共にして語り合う団体旅行が最高である。昨年春「日本人の心のふるさと」伊勢神宮参拝と湯の山温泉への二泊三日、一〇〇名で行った。御在所岳は海拔一、一〇〇メートル。これにかかる二、二〇〇メートルのロープウェイは片道一八分かつた。日本一の広大な眺望、日本の養殖真珠発祥の地賢島観光の楽しさが忘れられません。
永い間一緒に勤めた公社退職者同士の旅が出来たら、共に語り、共に枕を並べて語りあかしさぞたのしかろうと思います。そうした日の一日も早く来ることを願っております。

思い出を俳句に

井上 広次 (伊野)

「旅のおもいで」と言うものは、どこか温泉で全ストを見たとか、どこかの地酒で午前様になったとか、多勢の人々と語り合って楽しむものと、独り静かに過ぎた日を振り返って楽しむものがあると思います。

私の場合は後者に属するの、句帳の一片に記した駄句がその思い出の記録となることが多く、したがって、多くの人に披露して楽しんでもらえることが少いことを申し訳なく思います。でも私がこのページを埋める努力を買っていただいて辛抱してください。

土佐のあちこち

土佐日記ここにはじまる里田植

鯉舟戻る母港の宿雨かな

黒潮のあたる小浦の盆踊

放浪の歌碑も古りたり苔の花

四国の四季

伊予灘の朧を戻る櫓の灯
一村の草屋根ばかり梨の花
燧灘の端の干潟に浅蜆掻く
瀬見舟ときにはくぐる葛の花
舟虫や和寇の島の港寂び
湯の町の裏町ずまひ花茶垣
浅雪や母郷へ向ける露兵墓地

山陰の冬旅

震るるや神話の浜の蜃が家
吹雪ゐて流刑の島の灯の見へず
迅潮や隠岐と舳舻の鰯雲
時雨るるや長門の宿の蟹贈
大和路の春

一望野の平城京址豆の花

葛城の裾曲の里の鯉幟
燕の巢古りつつ吉野葛を売る
国栖の血を亨けつぐ部落五月鯉
薫風や碑に彫る八十の手鞠唄
紀の国の山吹濃ゆき坊泊り
伊那・木曾

伊那の駅柵にあそばす梅雨の霧
あしらへる紅葉鮮か木曾料理

感激の旅

太田 集 (徳島)

「旅は道連れ世は情け」の諺のように心の知りあった友と夢を持って旅をする程愉しいものはない。芭蕉も門弟曾良を連れて自然の中に夢を求め奥の細道の旅をしているが苦難の中に自然の深さを悟り随喜したことである。

幾年か前五十年振りて同窓の友に旅で会い

この時の感激は一入で一晩鎌倉で語り明かしたことは未だに忘れられない。

なつかしさうれしさ春の旅に酔う

感激のところに更くる春の夜や

小学校の同窓だった友に東京駅で会った時も言外のものがあつた。

なつかしく梅雨の銀座を恋ひ歩く

梅雨に会ひ話が夢を呼ぶ旅愁

昨年は中国の南京で別れた友と終戦後始めて会った時の苦心談。旅の思い出は次から次へとつづく。

富士見えぬ日にして旅の梅雨暮るる

旧友なればこそよ一ト夜を語る梅雨

旅で会ひ話に話す梅雨泊り

郷土にもある絶景

鎌倉 兵一 (高松)

昨秋京都の「野の仏」で有名な化野の念仏寺に詣で、そのまま高雄山ドライブウェイを経て柵ノ尾高山寺に行った。途中保津峽にかかる紅葉の織りなす眺望は、さながら錦の衣のような美しさでした。しかし、その時フト四国路にもこれら景観に勝るとも劣らない所があることを思い出しました。

それは、四国縦断道路一九四号線沿いで、高知県本川村バンガローから寒風山トンネルに向かいながら眺める石鎚連峰の紅葉。徳島県の祖谷川の支流松尾川の小祖谷地方(俗称竜の鼻)の眺望、俯瞰の溪谷美などで、その美しさは背景を含めて亦一段と美しい錦模様的一大パノラマであります。

四国には未だ人々に脛炙されていない数多くの自然の美しさがあることを再認識した次

第です。これに残された美しい自然の財産を今更ら再発見でもありませんが、機会を作つて改めてユックリと見直し味わいたいものと考えております。

また、子供、後輩のためにも害なわず、そのまゝの姿を残すよう努力したいと思っております。

飛驒の旅

木村 利一 (松山)

昨年の六月飛驒高山に先輩と二人で弥次、喜多道中よろしく旅をした時の出来事である。駅前から民芸館に行くつもりで案内所で聞き百円の切符を買ってバスにとび乗った。

ところが料金表示が三百円になつても目的地に着かない。たまりかねて運転手に尋ねたところ方角違いであつたが文句も云わずに途中バスをとめ、親切に自分も下車をし駅に帰るバスの時間まで調べて呉れ料金もとらずに行つてしまった。その間バスの乗客も何にも云わずに静かに待つてくれた。

おかげで無事予定どおり見物することが出来たが、見物そのものよりも素朴な人情にふれたことが何よりの土産であつた。

外国から眺めた故国

古山真佐子 (松山)

昨年十一月に愛媛老人クラブ連合会の研修旅行団に参加して参りました。

生れて始めての外国旅行で見るもの聞くものすべてが珍らしく、また日本を外国から眺めるよい機会でした。特に印象に残ったのは

台北で非常に清潔で道路には「チリ」一つ落ちていないように緑がたくさんあってとても美しい風景でした。市内を走っている車は大半二輪車で自動車は非常に少なく、それも日本製が殆んどなのに驚きました。人々の生活は質素のようですが国の発展に一生懸命に頑張っている姿がうかがわれました。

香港ではビクトリアピークからの百万ドルの夜景を堪能し、そのすばらしさにみとれ、最後の晩さんは香港名物の水上レストランで本場の中華料理をいただき、最高の外国旅行を満喫し香港に名残を惜しみながら楽しい外国旅行にピリオドをうちました。

もう一度訪ねたい

佐賀 茂吉（松山）

私のかずすくない旅で今も思い出に残るのは北海道の旅である。

時は五月の中旬、内地では花も散って青葉の頃と云うのに、北海道では桃と桜と一緒に花盛りの光景にまず目を見張った。

私の観たところは札幌市内、牧歌的な羊が丘、天然記念物の藻岩山原始林、眺望豊かな中山峠、三十数年前麦畑の一角が大爆発したと云う昭和祈山、標高七二五米の死火山で禿山の薄気味悪い有珠山、周囲四二K最深部一八三m中央に中島一つ浮かび出ている洞爺湖、鉄工の都室蘭であるが、やはり旅には、その刹那刹那の自分の感動を表現する詩や歌を持たなければならぬと思ひじみと思つたことであつた。

北海道は、何回でも行きたい私の観光地である。ゆっくり探勝したいと思う。

それも往路は各駅停車でもよい。のんびりと土地の風物に接して、帰路は空の便でと云うのが私の願ひである。

あの秋田、岩手の県境に横たわる国立公園八幡平もスチュワードスの知らせで上空から眺めたのでは風情もまことにうすいと思つた。

オレンジライン

佐久間由夫（松山）

去年九月に定例の通講クラス会が山口の湯田温泉で開かれた。その折に観光オレンジラインの萩まで足を伸した。

このコースはNHKドラマ花神に登場する萩から鑄銭司（山口市）三田尻（防府市）と、一連の地である。かつて昭和十五年頃この地方を仕事で歩き廻ったときは静かな街や村であつたが、今は観光地として道路もよくなり、ビルや工場も建ち人車の往来頻多で賑わい一新しており、特に萩では焼物が高くなり、かつ、数多く出廻っているのに驚いた。それでも指月城址、松陰塾、東光寺の毛利氏代々の墓地は昔ながらの寂かな姿で残っていてうれしかった。また湯田温泉もその頃は田ぼの中の温泉のようであつたのに、今は山口市の中心地が湯田に移りつつある発展振りで、山口電報電話局もこの温泉郷に一段と高くそびえていたのが心強く感ぜられた。

戦時下の旅

酒井 芳満（観音寺）

いつ召集令状がくるか判らないということ、父と小旅行をすることになった。時あた

かも大東亜戦争の真最中で、日常の生活物資は勿論・食糧も完全統制下にあり、外食は絶体でできなかった。

そこで出発にあたって母が心づくしの米旅館用と干飯・餅等をトランクに詰込んで持っていくことにした。

名古屋駅の待合室で道中苦勞して持ってきた弁当を開いていた。すると中年の紳士が、よろめくように近寄ってきて「お恥かしいことですが空腹で倒れそうなので、その食物を少しわけていただけないか」という。父と顔を見合わせて気軽に一包の餅を差出すと、涙声で「本当に助かります。家でみんなとご馳走になります」と何度も頭を下げ離れていった。私はある満足感に浸りながら次の目的地へ向かった。

この一こまは、三十数年を経た今でも忘れることはできない。

心に残る萩の旅

高野 武久（松山）

昭和二九年夏、三島局在勤中、中共電改式で既設局萩へ研修に行った。多い旅の中でもこの時の強烈な印象が今に残る。

まず、下車した萩駅前前の通り。江戸時代の絵そっくり昔のままの町並に一驚。その晩旅館で夕食時女中の話「松陰先生は、野山の獄で……」。世は移り現代になって、萩では「松陰先生」に対する尊敬の念が益々強い。流石維新の原動力と感嘆した。

翌日、萩局で研修後旧蹟を訪ねる。吉田松陰の生家や松下村塾、高杉晋作、木戸孝允、久坂元瑞、伊藤博文、山県有朋、他維新の英

傑の生家が百数十年の星霜下に粗末な昔のままの姿を止める。萩城内の離れ茶室（毛利候が非公式に志士達と会った所という）もそのまま。維新を偲びつつこれらを巡り歩いて一入深い感動に包まれた。その晩記念に馬上杯他素朴な萩焼を沢山買った。

以後、旅行について『歴史に興味があるなら断然萩が良い』と云ってきている。

旅の果報

玉川 都夢（松山）

思わぬ縁で豊後路の旅のときを一緒にさせて頂きまして大変幸せでございました。国東半島は予想以上に素適だったように思います。路傍に見た石塔、石佛群の何と素朴で味い深かったことか、雪の径を登り登って磨崖仏にたどり着きましたが、その巨きなお顔の珍らしさも全く印象深く心に刻みました。お手紙の俳句を拝見し、送って頂いた写真を眺めたりしています。俳句らしきものが浮びましたので書き並べて見ます。お読み捨て下さい。

磨崖仏あるゆえ雪の径つづく

風花を迎へる掌と思ひけり

降る雪に向きし仏に對ひるし

ら髪の中おそれざらめや風花の

雪の径入りて昭和を離れけり

これは昨年暮の三十日国東半島で出会った未知の一女性からの礼状の一節です。人生のゴールが見えはじめた私の心に楽しい思い出がまた一つ増えたことをしみじみとうれしく思うとともに最高の年末の旅であったと思っております。

心残りの三原山

中井 隆雄（徳島）

二十年程前の夏、約一ヶ月間東京の中央学園で「特別営業科」の訓練を受けたことがあります。全国から三十数名が受講しております。同室のYさんは松江の人でお国がらど「じょうすくい」の上手な人でした。休日には一緒に東京近辺の観光や、寄席めぐりなどをしておりましたが、某日土曜日午後から伊豆大島の三原山観光にさそわれました。当日は朝からお天気がよくなかったで見合わせることを提案したが、折角思いついたことだから一人でも行つてくると愛用の「コニカ」を肩に出かけました。幸いお天気もなおり、月曜日の訓練には少し遅刻しましたが無事新しい見聞をひろめて帰り私達をうらやましがらしました。

その後幾星霜、私は三原山観光の機会にめぐまれず今後もまた実現の可能性はなさそうです。あの時思い切つてYさんと同行しておれば……といかに機会の大切さを思い、人にも再々話して残念に思う次第です。

老人クラブ洋上教室

西尾 勇馬（土佐中村）

私は佐賀町分部落老人クラブの会長を数年前からしています。勿論無報酬です。人のため社会の為と考えてのことです。たいした経費を使わずに近くの佐賀温泉へ希望者を多数連れて行き温泉につかってから一ぱいやり、はがらかに一日を過ごすのが何より楽しみです。五十年十月二十一日第三回高知県老人クラブ

洋上教室鹿児島行き（五日間）に当町割当二名の一人に選ばれました。費用は僅か一万円で鹿児島の名所見物が堪能できたことは本当にうれしく一生の思い出です。聞くところによると県から三百万の助成金があったそうです。参加三五〇名全員満足したすばらしい旅行でした。昨年五月友達三人と車で九日間の四国八十八か所巡拝をしました。また十一月同じグループで四日間の高野山詣をしました。明治生れの私がこうして元気で気楽な旅を楽しんでおれることの有難さをつくづくと感謝している次第です。

京の味・旅の味

西山 政雄（丸亀）

夫婦二人のブラリの旅は、ほんとうに楽しいものです。十回ほど京の旅を楽しみました。が、昨年の秋また紅葉見物に二泊三日で行きました。

銀閣寺から疎水に沿って哲学の道をブラリ歩いて、紅葉の名所法然院から永観堂南禅寺清水寺から三年坂を通って円山公園まで気持ちの良い京の散歩でした。

翌日は、老杉茂る高さ五七〇米の鞍馬山へ目のさめるような紅葉の鞍馬寺に参拝、牛若丸が身をかくし、鞍馬天狗がヒヨイと現われる鞍馬はいかに山深い感じがする。

頂上附近に牛若丸の背丈くらべ石があり、この辺で牛若丸が剣術の修業をしたのかとその昔を偲びつつ山を降りた所に貴船神社がある。水のきれいな貴船川に沿って民家のない谷合の道を歩くこと約二軒三時間の楽しいハイキングでした。

市内大徳寺で鉄鉢料理を喰べる。器の立派なこと。料理のおいしいこと、善光寺宿坊での精進料理もおもしろかったが鉄鉢料理には京の味、旅の味がある。

何回でも行きたい、それは京都……

旅は道連れ二人旅

乗松 春美（松山）

汽車はまっしぐら長野の善光寺へと走りつづける。車窓から見る信濃路の山山は、雨あがりのあとスッカリ空の青さとマッチして、紅葉一色につつまれ、一幅の絵巻物を見ているよう、妻とともにただうつとりと自然の美しさに見とれるばかり。まだ挽き残りのリンゴがところどころ木にぶらさがっているのも見られ、ここへ来てよかったと思った。善光寺さんでは家族の無病息災を祈り、身も心も新たにその夜は温田中のホテルへ泊る。

翌日は伊勢神宮へと足を伸す。この日もぬけるばかりの快晴、秋も終りだというのに二人とも汗ばむ程であった。参拝客は毎日一人を超すとか、それも道理、今年は新しい宮移りの遷宮祭が行われたあとである。松の香も匂うばかり、神前に二人ならんで頭を垂れる。外人も数多く来ていた。宿は小高い山の上に建っている鳥羽伏見のホテルで山の上から見る伊勢湾の美しさは格別で、青い海の中に浮んでいる島々はまるで庭に据置かれた庭石のようである。

ホテルの桶料理はここならでは見られないものであり、若いホテルの娘さんが部屋に運んでくれたが、桶の中には生けつくりと数々の美味しそうな料理がばいばいで、接待ぶりも

最高である。

今回の旅行は楽しい思い出に残る印象深い旅であり、これからも二人にはいつまでも心に残したいと思っている。

旅は道連れ

土方 義夫（高松）

公社を退職した四十八年三月中旬、退職を記念して今は亡き妻と、別府―南九州―鹿児島―指宿へ旅したことがある。

新婚旅行で有名なコースだけに、若い新婚組が多く、退職組は私達と外二組の三組だけであった。別府のホテルで偶然三組が同時刻に到着し、食堂でも顔が合ったので、どちらからともなく笑顔であいさつしたのが始まりで旅行日程等を話しあうと驚いたことに全く同じ日程でホテル、旅館も同じであった。

一組は国鉄の退職者で岡山、もう一組は三菱電機の退職者で大阪の人であった。

当初は新婚コースへ割込むのは照れくさく二の足を踏んでいた私達であったが、よい連れができたお蔭で、三組とも照れることもなく、楽しい旅をすることができた。他の二組も私と同じ心境であったのか別れ際に握手しながらお礼を言っていた。

わずかに三泊四日の短かい旅であったが、十年來の知己を得た思いで現在でも文通している。

カルホルニヤの旅

保木 行重（高知）

健康で事情がゆるせば百聞は一見の旅ほど楽しく有益なことはない。旅は道連れ世は情気分壮快我が身の老いも忘れて元気浚刺、世

界は自分達のためにあるように思え若返る。

北米カルホルニヤ（黄金の洲）に旅したときのこと、田舎者が先ず第一にビックリは大平原、塵一ツ無い清潔な、あの幅広い立派な道路、整備された橋梁。ガードレール等には赤錆びたのは見当たらない。事故で損傷したガードレール等もすぐに修復され無慙に姿を長くさらしている所もない。道路交通の取り締りもきびしい。パトカーの数の多いのにも驚いた。又、道路に紙ぎれ一つ放落しても三〇〇ドルの罰金。見た者が申告すれば罰金の半を申告者にくれる。日本もこれを実施すればよくなると思つたね。とにかく綺麗な道路を安心して愉快に走れるのはなんとうれしいこと。世界に名高い「ヨセミテ」公園も森林警備隊がガッチリと守っており、迷子になることもなく楽しい観光ができたのに心から感謝している。

山中で野生の猿に出会ったのはラッキー、双方ニラミ合つてグットバイ、でも緊張の一瞬でした。広大な平野の田畑の農作業、みのりの取り入れ等も工場のような巨大な機械が駆使されているのには流石は世界の食糧宝庫だと心強くも又ビックリ。湖やダムにしても琵琶湖ほどしか知らない私は「オロビル」ダム観光に行き、デッカイのに形容する詞もなく、こんなダムが沢山あると聞かされウンウンとうなずくばかりで富める大国にはかなわんと思つた。混雑の場所でも秩序正しく行動して不快指数がないのには頭が下るばかり。言葉は英単語の羅列と日本語のチャンポンとジュエスチュアで結構間に合ったのには自信がチョッピリ、うれしかったね。日本料理店で

日本ビール、日本酒で一盃酌み交す時の美味何んとも云えん。正に価千金。六ヶ月の間に降雨三回、しかも三十分足らずの俄雨程度、日本の四季は雨に洗われて美しい箱庭のようなどと思ひ、日本に生れたことを無上の光榮に思つた。日本人の逞しい開拓の跡を偲び感謝しつつ楽しい毎を送つた。

独り旅の味

柳瀬 市郎 (佐川)

目的を持った旅は爽快です。在職中は関東から九州まで要所を団体で短日で旅行もしましたが、やはり若い頃の独り旅がおもいでです。大阪の養成所に居た頃、連休を利用して地図を頼りに京都や伊勢へと独り旅。自分の足の行くまま気の向くままに、金のゆるす限り名所や遊楽街で別天地の社会をあじわつたのもおもいでの一つです。退職してからは、都会は敬遠して海や山野で自然と交りを楽しんでいます。昨年は選に外れましたが今年は県主催の老人の船に乗って、東日本海岸の旅を楽しみにしています。

独り旅今夜の宿に当があり

龍宮城の思い出

吉本 精一 (徳島)

五一年四月下旬退職発令を前に余暇を見付け生活の一応の区切りと一方女房に対する長年に亘る悪業の償いを兼ね、五島列島の荒川温泉に晩婚旅行を思い付き、新幹線で博多まで、それから急行で長崎へ。一昨年新装なつた長崎空港から滞空一五分で福江空港へ。飛行時間は僅かながら眼下に見る光景は、

瀬戸内海に見る島影とは亦違つた美しさであつた。空港からタクシーで一時間余りで荒川温泉着。

全国各所にある人口に眩炙俗化された所謂温泉地とは異なり、民宿風で家族的な接待には心温る感銘と共に、うれしさを受けたことであつた。食膳を賑わす「生き」の良い魚貝類・特にえび・あわびの味は格別。窓際から見える数多の五島各小島群と共に徳川禁制から逃れ僻地にひそかに建てられた島民崇拜の的と伝えられるキリシタン教会、亦一方二四時間適温の温水溢れる桧製浴槽、それこそ竜姫城にあそぶ浦島太郎にも似た優雅な気分、軍靴の垢を含めて長年のつかれをいやすに充分な思い出ぶかい旅であつた。ちなみに旅館名は「竹の家」であつた。

短歌

藤田 基孝 (松山)

北の果ての平らに長き島遠くかすみで見ゆる鉄塔は何ぞ

岩に書く怒りの文字も薄れたり還り来ぬ島を嘆きて帰る

朝かすむ入江の牡蠣島に渡り来ぬ先住民族の跡訪ねむとして

いつになく妻にやさしく言ひ残し法螺貝びびく石鎚山に來ぬ

夏空にそびゆる岩の秀ときに見え霧は眼下の溪よりのぼる

俳句

陽 炎

岩原 貞恒 (南国)

初髪のを鏡のすみに見る

焼け芝に陽炎もえて農夫ゆく

片言の孫もまじえて歌留多取り

雑 詠

原田 照男 (三本松)

大鯉を荷に着けしロバあり冬うらら

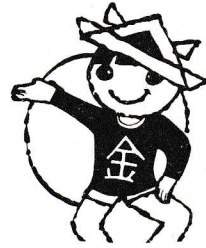
初薬師親のしぐさをまねる子等

なが飛びの出来ぬ子雀追う子達

事務局から重ねてのおねがい

いまだ叙勲上申の時機を失して会員の訃報が届くという手違いが跡を断ちません。

二十年以上勤続した退職者の死亡時には、総裁又は通信局長から弔電をいただくことになっていきますので、少くとも告別式までに通信局へ連絡がなければなりません。悲嘆にくれる遺族からの連絡は無理と思ひますので、友人知己の方は速やかに各県退職者の会事務所へご連絡をお願いします。



随

筆

年賀状愚考

猪谷 嘉夫 (高松)

時まさに花見時分というに、今更年賀状でもあるまいと十菊のそしりを受けるだろうが然しこれを書いておる現在、年賀状の整理や、お年玉の当選番号の対照も終り、庭先の梅の蕾が心なしか膨みかけた頃である。

当今の年賀状は紋切り形の印刷文が多くて趣が乏しい。然し中には一寸した添え書きをしてくれる人もある。「いつまでもお元気で」とか「御健康で長生きを」というのがかなりある。これらの大部分は、戦争前后に高通(現在の中央学園)の教官当時、クラス担任をしていて相当手古摺らされた学生からである。三十余年経た今日、この様な心遣いをしてきて感激に堪えない、その反面自分もそんな歳になつたかとの感を深くする。また昨年同窓会誌にソ連旅行記を書いたら「面白く拝見した」と、数名の古い知人からのものも書いてあった。半分はお世辞とは思ひ乍ら拙文を読んでくれたかと思うと何となく好い気持ちになる、そうかとすれば「碁盤や麻雀が夜泣きをしておる」と、かつての悪友から誘いの添え書きもあった、早速飛んで行きたい衝動にかられるが、汽車賃が高くておいそれと出かけられないのが残念千万。

添え書きは単調な印刷文に精彩をそえ、心が温まる思いをさせるものである。こんな訳で私も努めて書くことにしておるが、数が多いので一部の方や、前年旅行先で世話になった方だけというのが偽りのないところ。

首尾一貫

田中 義隆 (松山)

江戸後期の有名な狂歌師・大田蜀山人が、次の辞世をのこしている。

昨日まで人のことかと思ひしがおれ
が死ぬのかこれはたまらん

死という、縁起でもない顔をしかめられそうだが、人はいずれ死ぬ。その心構えをしていても、「これはたまらん」とあわてることになるかもしれない。

葬式無用をよく聞く。弔いのための「葬」は必要だが、それに付随する「式」が無用というのである。むろん立派な葬式も結構だが、どう注文しておいても、どう取り運ばれるか思うようにならない場合もある。

うちの宗旨は臨済宗妙心寺派だが、それにこだわることもない。もともとそとと生まれてきたのだから、そとと葬ってもらうと首尾一貫する。

家の者には、いつもそういつている。

趣味に余生を

中原長太郎 (日和佐)

人間の趣味は多種多様にあり、裁判を趣味にして居る人もあるとか? 又好む人も千差万別であります。然し人は時間と経済が許すなれば、趣味は多い程良いと云います。そして其の趣味が生業につながるなれば、理想だと思ひます。印ち生業が楽しみになるからであ

ります。

私は若年中は特定郵便局に勤務していた関係上余暇が少なく(昔の特定局はほとんど無休状態でした)趣味の時間が取り難く苦労しました。又私は内勤であつたので運動が不足勝になるのでスポーツ的趣味を持ちたいと考えテニスと魚釣を選びました。そして楽しむと云うことより心身を鍛えようと云うことを主眼としてはげみましたので技倆はつたないが健康上大変に効果があつたと思ひます。退職後はもっぱら健康保持の意味で野球と魚釣に熱をあげています。

退職当時の三十四年頃より当地にはオールドスターと云う野球団があつて、セ・パに順じて特に四十才以上の者が集つて居ります。毎年四月一日から十月十日まで毎朝六時から七時までの一時間に五回戦を行ない其の成績を競います。チーム数は六つあり私はその内のゴジャーズチームに所属していますが若い者は勝敗にこだわって老人組はベンチが多く、それでも好きなので毎日キャッチボールは欠かしません。私のチームは優秀で昨年一昨年と連続優勝しました。私も本年はロボット監督として頑張りました。

魚釣は少年時代より川、海とよくやりました。釣はフナ釣に始まりフナ釣に終ると云いますが最近ハマチ釣に熱中しています。時期は九月から十一月頃まで、岸壁より投釣、針はギジ針として二本、テグスは一分五厘位として波の高い日が最適です。昔は一日に百五十匹も釣った人があると云いますが、最近ハマチ養殖のため稚魚を取りますので殆んど釣れなくなりました。今迄に一日四十匹釣りあげたのが最高です。今年もまた日和佐阿瀬鼻岸壁で毎日ハマチ釣を楽しみ余生の健康

保持にはげむつもりです。

蝦夷の旅(三)

藤田 基孝(松山)

層雲峡は上川から入り石狩川を暫く廻るとバスの天井から、荒々しき岩壁が両方に迫り天を突く様な巨大なる怪岩がのしかかる様に続くのが見える。大雪山の雪融水は靑空が破れて落ちる如く巨岩の頂上より幾条もの飛瀉となりて石狩川に注ぎ存分に楽しませてくれる。簡易保険センターに一泊した私は、大函を経て標高一〇五〇メートルの石北峠に少憩、馬鈴薯を食い玉蜀黍を嚙りて留辺蘂から網走の天都山YHに着く、たまたま一処になりし東京劇団の一行でその夜の食堂は大賑いであった。

鈍行列車でのろのろと行く原生花園、瀟湘湖あたりの花の中の放牧風景は真に長閑で、斜里から知床半島西海岸をバスで行く、ウトロを過ぎるとバスは山に入り、白々と土埃を上げてひどく揺れる、岩尾別温泉を谷間に見下し終点の知床五湖で下車した。

重き荷物を肩にしたまま私は幻の湖、知床五湖を探ねんと薄暗き山中を暫し彷徨う、私の後に従いて来た一人の女性は蚊蚊の襲撃に参ったらしく何時の間にかその姿はなく、独りになり疲れ切った頃、松の繁みに光る一つの湖に出会った。夕日に染まる硫黄山の雪山が湖面に赤く逆さに写し出されて私の心に沁みる、いつまでも居たいが、ひしひしと迫る孤独感と襲い来る蚊に堪り兼ねた私は末だ見ぬ後の四湖に心を残しながら元来た道をバス停に戻った。

ウトロの民宿を早朝に発ち、十六里の知床半島を海上より探らんと波止場に出る。知床旅情で知られるだけに船内は若人一杯だ。

晴天であるのに海上は奇妙にどす暗く、時折り黒き鰭を海上に揺らせながら大きな鰻が幾つも私の船に並行して泳ぐのが見える。海岸線は殆ど絶壁にて、雪解の水は滝となり断崖から直に海面へ散るのが特長で中には噴出した熱湯が川をなし滝となりて海面に散る。

半島の背骨である知床連山は何れも一五〇〇メートル以上ありて雪を冠り、噴火口は赤く空に向って口を開くのが船より見える。

幻の岩として有名な風船岩を見るべく私は半島の最先端まで行ったが、一昨年の流水塊によりてその細首を打砕かれ哀れ風船岩は海没した後にて私は大いに落胆した。

半島の海岸線には奇岩、洞窟多く、その曲線は概ね女性的にて、隠岐の島の国賀海岸の荒っぽさとは対照的である。ウトロの港頭を圧する物凄き巨岩の洞窟、或いは天に突立つ男性のシンボルの岩塊を後に、私は思い出の知床を去り、白雪の斜里岳を仰ぎつつ夕刻には川湯の宿に着き、このたびの行程の半ばを漸く終ったのであった。(つづく)

訃 報

次の方が亡くなりました。謹んで哀悼の意を表します。

氏 名	死亡月日	行年	所 属
中村 二郎殿	51・12・27	七五	安 芸

投稿規程

- 一 会員消息 四〇〇字以内
 - 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
 - 三 随筆、随想 六〇〇字以内
- 原稿締切 五月一五日
原稿の取扱についてはお任せねがいます。

編集後記

▽あちらこちらに梅が咲き、桜の蕾がふくらんだ今日此頃、会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。本号は旅の思出として特集してみました。旅の楽しさはいつまでも心に残る思出にあらうと思います。また旅を楽しむには健康こそ最大条件と思います。くれぐれも健康に気をつけましょう。▽本年度の年金改訂時期は昨年より三カ月繰上がり、皆様待望の四月から実施されることとなる予定です。ご尽力下さいました先生方に心からお礼を申し上げます。

年金にすぎる余生や四月馬鹿

都 夢

電友会四国連合会会報 第一八号

昭和五二年四月一日発行

編集発行 電友会四国連合会

事務局

松山市一番町四丁目(〒七九〇)

四国電気通信局内

電話(〇八九九)三六二〇二三

印刷 四国電話印刷株式会社